地元企業の声 / 支援体制

自然と産業の共生
NUMATA

日本デルモンテ株式会社

当社は1961年にキッコーマン株式会社の経営多角化の一環として設立され、1963年に群馬工場の稼働を開始、2012年に本社を沼田市に移しました。“We Grow Quality”(私たちは品質を育てます)、”A Gift of Sunshine”(太陽の贈り物)を合言葉に、調味料、飲料、野菜・果実加工品の製造を行っています。トマトケチャップやトマトジュースを主力製品とし、フルーツジュース、アップルソースを展開し、総合的な農産加工メーカーとして、日本全国に美味しさを届けています。60年を越えて培った農産加工の知見を活かした「デルモンテならでは」の製造に取り組んで参ります。

■沼田市へ立地を決めた理由

・関連会社の工場が沼田市にあったこと
・沼田市を中心とした地域が原料トマトの産地として適地であったこと
・豊富で良質な地下水を得られることが見込まれたこと

■立地して良かったこと

・豊富で良質な地下水を継続的に得ることができる
・自然災害が少ない
・沼田市、商工会を中心として他企業との交流・協力が図れる

ZACROS株式会社

ZACROS株式会社は、1914年絹製品の包装材「ターポリン紙」の国産化からスタートした藤森工業が110周年を機に社名変更をした企業です。国内11拠点、海外6か国にて事業展開をしており、世界シェアトップの偏光板用プロテクトフィルムや折りたたみ液体容器(バッグインボックス)などを初めとした様々な製品を製造・販売しています。また2026年には沼田事業所に世界初の3m幅偏光板プロテクトフィルム製造ラインを新たに導入予定です。110周年の節目に「ソリューション創造活動の進化」を掲げ、デジタル技術も活用した製品・サービスの拡充に取り組んで参ります。

■沼田市へ立地を決めた理由

・地盤が安定しており、地震、水害などの自然災害が少ないこと
・交通網が整備されており、都心及び日本海側へのアクセスが良好であること
・大きな企業がなく、労働人口が確保しやすいこと　・水資源が豊富であること

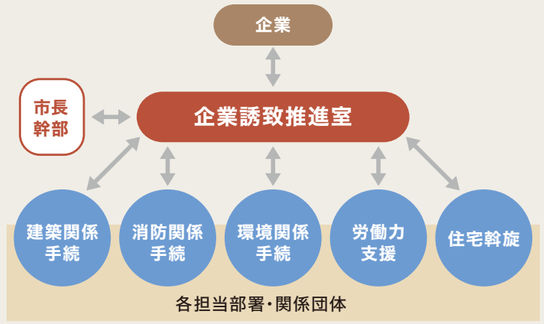
■立地して良かったこと

・従業員が生活する上での住宅供給、学校・病院などの生活インフラが充実している
・今まで大きな災害は発生せず、東日本大震災の影響も軽微であった
・子育て対策が充実しており、移住人気も高い　・行政の協力体制が手厚い

沼田市のきめ細やかな支援体制

沼田市は、複雑な法手続きの支援や人材確保支援が整っています。立地にあたってのご相談から操業後のフォローまで、きめ細やかに対応いたします。

- 企業訪問
- 立地に向けた相談
- 企業決定
- 立地手続きのフォロー
- 操業後のフォロー



工場立地・物件選定に関する支援について

沼田市では、空き地や空き工場、居抜き物件などの情報をリスト化し、企業の皆さまに最適な立地・物件選びを支援しています。ご希望に応じた物件の提案や、移転・設置に関するご相談にも対応しています。市として、企業の円滑な立地支援を行い、事業の立ち上げをしっかりとサポートいたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

問い合わせ先

沼田市役所 経済部 産業振興課 企業誘致推進室

〒378-8501 群馬県沼田市下之町888番地 テラス沼田5階
TEL 0278-23-2111(代表)(内線 5006・5007)　FAX 0278-24-5179
MAIL sangyo03@city.numata.lg.jp

沼田市企業立地ガイド

URL
https://●●●●●●●●●●●●●●●●

ダミー

自然と産業の共生
NUMATA

森林文化都市で叶える、豊かなビジネスライフ

群馬県沼田市企業立地ガイド

森林文化都市で叶える豊かなビジネスライフ

自　然

市域の約8割を森林が占める沼田市は、日本有数の河岸段丘の上に広がる自然豊かなまちです。標高差に富んだ地形や清らかな水系、玉原高原のブナ林をはじめとする多様な自然環境が、循環型社会の基盤として息づいています。

くらし

都市機能と自然が調和する暮らしやすい環境が整っています。市街地には商業施設、医療機関、教育機関が充実し、自然に囲まれながら子育てや仕事に取り組める地域です。

観　光

沼田城跡や真田ゆかりの史跡、吹割の滝、温泉地など、自然と歴史が調和する観光資源が豊富で、ウィンタースポーツやラフティングなど、四季を通じたアクティビティも楽しめます。

産　業

豊かな自然と良好な立地条件を活かした農林業と、進出企業による製造業などが共存する産業構造。関越自動車道やJR線、新幹線の利用により、首都圏や各地域とのアクセスも良好。自然災害が少なく、安定した操業環境のもとで、持続可能な産業活動が広がっています。

■沼田市データ

総面積		443.46㎢
総人口		約43,115人
	15歳未満	約11%
	16～64歳	約55%
	65歳以上	約34%
世帯数		20,600世帯

（令和7年4月末現在）

森林文化都市アクションプランについて

“森林文化都市”という言葉には、自然とともに生きるという私たちの姿勢が込められています。森を守り、育て、そしてその恵みに感謝して暮らす。人と自然がともに育ち合うまちでありたいと考えています。このまちの資源や環境を活かしながら、皆さまとともに新たな価値を創り上げていきたいと考えています。自然の力を味方に、持続可能なビジネスを展開していただくパートナーとして、沼田市は全力でサポートします。

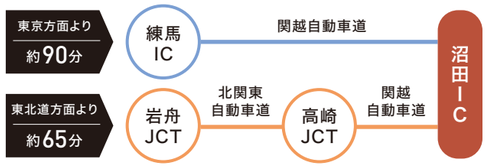
沼田市のビジネス環境

自然と産業の共生
NUMATA

便利なアクセス

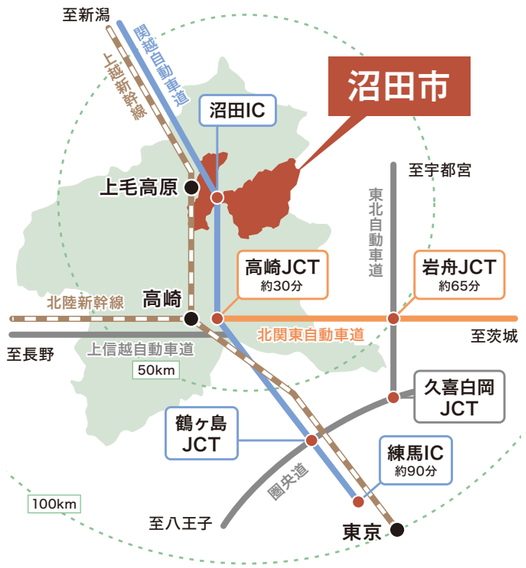
沼田市は、関越自動車道「沼田IC」や上越新幹線「上毛高原駅」、JR上越線「沼田駅」が近く、東京方面や群馬県内の主要都市へのアクセスが良好です。企業活動に必要な移動がスムーズに行え、全国規模のビジネス展開にも最適な立地です。

■車でのアクセス



■新幹線でのアクセス

■在来線でのアクセス



災害に強いまち

沼田市は河岸段丘の安定した地盤にあり、地震や土砂災害のリスクが低く、事業展開に適した環境です。降水量が少なく水害のリスクも低いため、安定した事業運営が可能です。長い日照時間も特徴で、再生可能エネルギー利用や効率的な生産活動に最適です。

今後30年以内に
震度6弱以上の地震に見舞われる確率

沼田市は **2.1%**

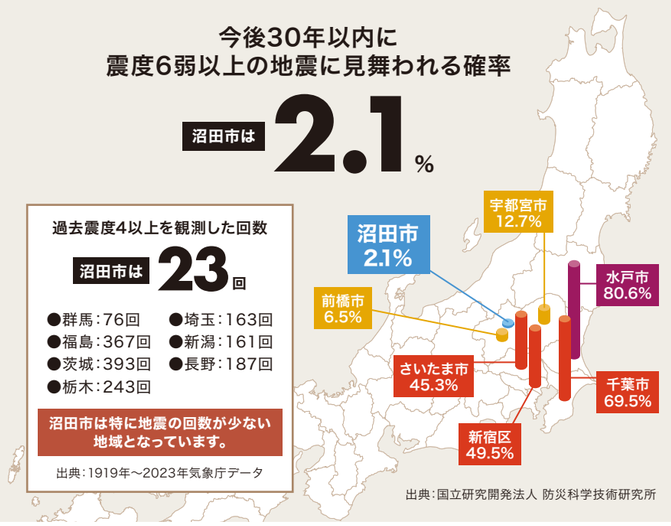
過去震度4以上を観測した回数

沼田市は **23回**

- 群馬：76回
- 埼玉：163回
- 福島：367回
- 新潟：161回
- 茨城：393回
- 長野：187回
- 栃木：243回

沼田市は特に地震の回数が少ない地域となっています。

出典：1919年～2023年気象庁データ



出典：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

沼田市のビジネス環境

安定した事業が叶うまち

沼田市は、賃金や地価の水準が都市部に比べて抑えられており、コストを抑えた安定的な事業運営が可能です。また、最低賃金も比較的低く、雇用コストを抑えながらも、地域に根ざした優秀な人材を確保できます。人材確保や定着を支援する制度も充実しており、企業の成長と持続的な雇用の両立を後押しします。

人材確保・定着のための各種施策

子育て世代の働きたいを応援する面接相談会

子育て中の女性や主婦等を対象に、仕事と家庭の両立支援及び雇用の拡大を図るため、女性雇用に積極的な企業との面接会相談会を開催しています。

高校生のための企業ガイダンス「Listen！利根沼田の企業の話」

地元企業へ関心を持ってもらい、就業意識を高めてもらうことを目的に、利根沼田地域の高校生を対象に企業ガイダンスを開催しています。

学生のための利根沼田企業ガイド2025

高校生などが将来的に利根沼田での就職をイメージできる具体的な情報源として活用してもらえるよう、10代～30代のワークスタイルを紹介するガイドブックを作成し、県内全ての公立・私立高校に配布。若年層への雇用PRに力を入れています。

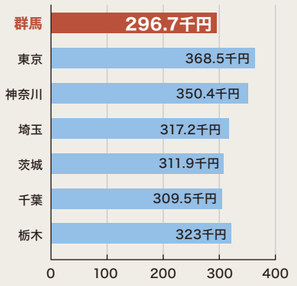
新規学卒就職者研修会 勤労者スポーツ大会

市内事業所などへの新規学卒就職者を対象にした研修会を年2回、勤労者を対象にしたスポーツ大会を年2回開催。社会人に必要な知識やマナーの習得、地元への定着や早期離職の防止、研修会やスポーツ大会を通じての勤労者相互の親睦を図っています。

群馬県の賃金相場

東京都の 約8割

他県との賃金相場比較

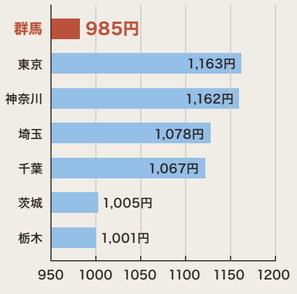


出典：令和2年賃金構造基本統計調査（厚生労働省）

群馬県の最低賃金

関東で 1番低い

他県との最低賃金比較



出典：令和6年地域別最低賃金改定状況（厚生労働省）

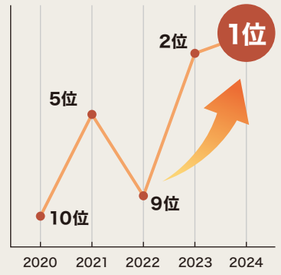
安心して暮らせるまち

沼田市では、通勤時間が短く、生活に必要な施設もコンパクトにまとまっているため、家族や自分の時間をしっかり確保できます。住宅価格も都市部に比べて抑えられており、自然に囲まれた広々とした住環境が手に入ります。無理のない暮らしと働き方が実現できる、ゆとりあるまちです。

移住希望ランキング

群馬県が 第1位

群馬県の移住希望ランキング推移

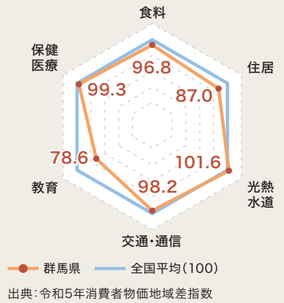


出典：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

物価水準

群馬県は 3番目に低い

群馬県と全国平均の費目別物価水準比較

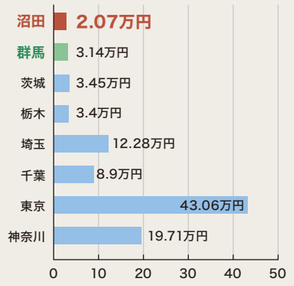


出典：令和5年消費者物価地域差指数
小売物価統計調査（総務省）

住宅地平均価格（円/㎡）

2.07万円

他県との住宅平均価格比較

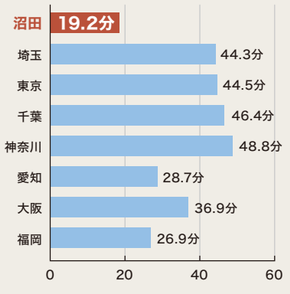


出典：令和6年度都道府県地価調査（国土交通省）

沼田市に住む方の平均通勤時間

19.2分

他県との平均通勤時間比較



出典：平成30年住宅・土地統計調査（総務省）

待機児童数

0人

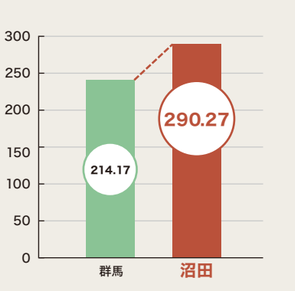
全国の待機児童数との比較

出典：保育所関連状況取りまとめ（こども家庭庁）

沼田市の人口10万人あたりの医師数

290.27人

群馬県との比較



出典：JMAP地域医療情報システム（日本医師会）

沼田横塚産業団地

令和9年度
分譲開始予定

首都圏へのアクセスは抜群
BCP対策に最適な災害が少ない産業団地
立地希望条件に基づく最適区画をご提案

産業団地データ

所在地	群馬県沼田市横塚町
団地総面積	約19.0ha
分譲面積	約15.8ha
分譲単価	20,000円/㎡～25,000円/㎡程度 正確な単価については造成完了後に確定します。
土地利用区分	工業専用地域
建築基準	建ぺい率50%、容積率200%
緑地の緩和	●緑地面積 5%以上 ●環境施設面積 10%以上（緑地面積含む） 沼田市工場立地法に基づく地域準則条例
立地・形状等	平坦地
地質・地耐力	砂礫層、深さ9mN値50以上
上水道	沼田市上水道 900t/日（団地全体）
排水	企業が個別処理
電力	普通高圧：6.6kV、特別高圧：要相談
情報通信	光回線

関越自動車道 沼田ICから 約2.5km（約5分）

問い合わせ先
沼田市役所 経済部 産業振興課 企業誘致推進室
〒378-8501 群馬県沼田市下之町888番地 テラス沼田5階
TEL 0278-23-2111（代表） FAX 0278-24-5179
MAIL sangyo03@city.numata.lg.jp

沼田横塚産業団地

沼田横塚産業団地お問い合わせフォーム
https://logoform.jp/form/tauE/928472

優遇制度／移住・定住支援

詳細はこちら ダミー

優遇制度

❶沼田市企業誘致推進条例（助成金）

概要	市内の土地を取得もしくは市有地を使用し、事業用施設を新増設する企業、または市内に本社機能を移転する企業に助成金を交付します。	
業種	製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業（旅館・ホテルに限る）	
要件	①事業用施設の新設または増設	ア 市内で3,000㎡以上の一団の土地を取得し、その土地を取得した日の翌日から起算して1年以内に当該土地を敷地とする建築面積500㎡以上の事業用施設の建設に着手した企業。
		イ 市内にある市有地を使用し、賃借契約の締結の日の翌日から起算して1年以内に当該市有地を敷地とする建築面積500㎡以上の事業用施設の建設に着手した企業。
	②本社機能の移転	市外から本社機能を移転し、商業登記法に規定する本店を市内に登記した企業（雇用促進助成金のみ）
助成金の種類	①用地取得助成金	用地取得代金の10%（1㎡当たり1,000円、総額5,000万円を限度）
	②施設設置助成金	ア 土地を取得した場合：固定資産税及び都市計画税相当額（3年間）
		イ 貸し付けによる市有地を使用した場合：固定資産税及び都市計画税相当額（5年間）
	③雇用促進助成金	市内での事業開始に当たり、事業開始の日までに新たに雇用した沼田市在住者を事業開始の日から1年以上継続して雇用した場合、1人当たり10万円（1事業所1回限り、500万円を限度）

❷沼田市企業誘致推進条例（低開発工業開発地区における固定資産税の課税免除）

❸沼田市工場立地法に基づく準則条例（緑地面積等の緩和）

❹沼田市過疎対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例（利根町）

❺沼田市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例
※着工前に群馬県の認定が必要

❻地域未来投資促進法による固定資産税の課税の特例に関する条例
※着工前に群馬県の承認・国の確認が必要

移住・定住支援

❶移住促進通勤費補助金（新幹線通勤費を補助）

❷ぬまた暮らしトライアルステイ補助金

サテライトオフィスの開設や本社移転など企業の新たな拠点作りをサポートします。

サテライトオフィス等開設費補助金

サテライトオフィス開設、
本社等の移転に要する費用の一部を補助します。

補助金額 対象経費の2/3以内の額 限度額 200万円

雇用拡大推進補助金

市民の雇用に対して補助金を交付します。

補助金額 市民の雇用1人あたり10万円 限度額 100万円